

平成21年度 第2回安曇野市図書館協議会 会議概要

- 1 審議会名 平成21年度 第2回図書館協議会
- 2 日 時 平成21年11月13日 午後1時30分から午後3時40分まで
- 3 会 場 明科総合支所 北大会議室
- 4 出席者 甕会長、熊井副会長、清沢委員、本郷委員、金子委員、八賀委員、
望月委員、加々美委員、三重野委員、武井委員、青木委員
- 5 市側出席者 丸山教育長、北條文化課長、百瀬副館長、山崎図書館長、赤堀図書館長、
丸山館長、高山図書館係長、細萱主任
- 6 公開・非公開の別 公開
- 7 傍聴人 0人 記者 0人
- 8 会議概要作成年月日 平成21年11月17日

協 議 事 項 等

1 会議の概要

- (1) 開 会 (北條文化課長)
- (2) あいさつ (甕会長・丸山教育長)
- (3) 協議事項
 - ① 安曇野市中央図書館開館後の状況について
 - ② 新豊科図書館建設について
 - ③ 安曇野市図書館資料収集計画について
 - ④ 安曇野市図書館基本計画について(報告)
 - ⑤ その他について
- (4) 閉 会

2 審議概要

- ① 安曇野市中央図書館開館後の状況について
(事務局説明)

委員・・・入館者数について、同じ人が何回も行っているとか月に何回かいつているなどそういうデータは抑えているのか。

事務局・・・そこまではとれていない。

副館長・・・貸し出し人数と貸し出し冊数は、カードの利用から実質的な図書館の利用者ということでその人数は分かる。ゲートでは閲覧だけの来館者の数字もカウントしている。

委員・・・貸出人数は入館者の2分の1ということか。

副館長・・・そうです。

委員・・・利用者カードの新規登録者というのは年齢制限があるのか。2, 3歳の子どもでも登録ができるのか。

副館長・・・可能です。

会長・・・一万9千の貸し出し人数はちゃんとデータを取り出している。入館者というのはエントランスホールで数えた人数か。

事務局・・・図書館の自動ドアを入った中にゲートがある。そのゲートでカウントしている。みらいの玄関ではない。

会長・・・新しい図書館の中に入る人が4万3千、その中で実際本を借りた人が約2万ということ。

事務局・・・9月12日から11月12日分ということで中央図書館内でアンケートを実施した。簡単に内容について報告したい。(資料説明)

会長・・・色々あるが、利用する方の問題点もあるような気がする。

委員・・・子どもの本のコーナーの下駄箱には大人用の靴べらがあつたらいいと思う。大型絵本を親子連れがフロアにだしてひろげて、その上で見たりとか、子どもが本を落としているということも見かけている。貸し出しや扱いについて検討して欲しい。

委員・・・知り合いが今度の図書館は落ち着きがないといていた。雰囲気が悪いと。アンケートの苦情について照明が暗いとあるが、逆に明るすぎるという指摘があるが照度は測ったのか。

事務局・・・図書館内の蛍光灯は自動調光となっている。本を読む席にはスポットが手元に落ちるようになっている。実際に何ルクスとかの調査はしていない。

委員・・・絵本の書架が渦巻き状になっていて、高さもある。たしか設計時に大人の本のところに親がいた場合も子どもが見えるということでガラス張りにしたと思うが、あれでは子どもが見えない。

委員・・・図書館サポーターとして時々出ているが、子ども図書館は巡回をしている。ほとんど保護者が一緒にいる。危険性はないと思う。アンケートには職員職員とあるが、多分サポーターにむけられた苦情だと思う。事実自分も大勢貸出機の周りにいてうるさいと思ったことがある。

利用者にも問題があると思う。休日など、利用者が多いときに、早くして下さいと促すことはある。利用をスムーズにするために言っている。一々行政側が細かく対応していたらきりがいいのでは。それよりも、トイレの数より扉が非常に重いことが問題。力のない高齢者にはきつい。

会長・・・見える見えないはあるが、大丈夫だということ。アンケートには非常に個人的な意見がある。たとえばおいがきらいって、実際どういうことかわからない。

委員・・・アンケートにもあったが紙芝居が探しにくい。背表紙などつけられるのでは。

副館長・・・新しいものは付けているが、以前のものでないものもある。今後工夫したい。

委員・・・検索機で調べても、配架場所がわからない。わかりやすくなる機器などないか。

副館長・・・できない。図書館の本は図書館法で10進法で分類してある。表示のとおりみればおよそ分かるが、わからない場合は職員に聞いて欲しい。

副会長・・・配架ボランティアをやらせてもらった。携わっている職員の苦労を感じた。アンケートもいいが、利用者がまず感謝する気持ちを持って欲しい。利用者と職員の心の交流が図書館を良くすると思う。利用者も協力が必要。困ったら職員やサポーターに声をかけてくださいと案内にもある。不安なのは本当に機械化されている。保守などは大丈夫なのか。

事務局・・・実際にトラブルが起きることもある。利用者が殺到するときなど、機械の側に不具合がでると、今の職員数ではそれだけでパニックになってしまう。利用者が多くなるのはありがたいが、大きなトラブルがないかは心配している。安曇野市の図書館は年末年始以外は必ずどこかの館が開いているようにしているが、一斉メンテナンスの目的で、休館する日があるのが望ましい。何も無い時に何かあった時の準備をしたい。

会長・・・マナーの向上の対策を立てて欲しいとあるが、週末に行ってみると本当に大勢いて、小さい子が飛び回っていて、本当に煩雑というか、利用者も感謝を持って使いたいと思う。

副館長・・・先日学校図書館の司書部会と会議をもった。先生を通じてマナーに対する通知をしたという報告があった。気がつけばその場で注意するようにしている。

会長・・・ではアンケートについてはそれで。

② 新豊科図書館建設について

事務局・・・(新豊科図書館について資料説明)

委員・・・一階に福祉のコーナーとあるが、これは。

館長・・・拡大読書機や、対面朗読など、またそれらを利用する方の部屋と考えていた。読書会やボランティアの方が利用することも出来る。ただ、名前については変えた方がいいと考えている。

会長・・・何回もの検討を重ねている。景観ともに考えた設計。この資料は全戸配布されているのか。

事務局・・・全戸には配布していない。

③安曇野市図書館資料収集計画について

事務局・・・(資料説明)

委員・・・4ページについて。三郷・堀金については平成24年度までに方向性を定めますとここに書いてあるが三郷図書館についてはすぐにでも着手するような青写真を描いていたはずでは。ワークショップもあえて、既に児童館は建設されている。そこに併設する形で今すぐにでも豊科に続いて建設されるという方針だった。ここで読むと24年度までに方向性をとると、建てるか建てないかまで含めて検討するという意味で解釈していいか。

事務局・・・三郷、堀金の整備は必要。本庁舎建設の課題がある。本庁舎ができれば空きスペースの活用など、教育委員会だけの問題でない課題がある。遅くとも24年度までにはその方向性を定めますという標記。市ホームページでも三郷交流学習センターについては既に構想図もある。児童館も竣工した。ただ状況の変化等があり、明記までできなかった。時期や場所について、他の計画との整合が必要になってきた。

委員・・・これを市民に説明するときには、市政の転換を受けてこうなったんですよという様な、分かりやすい説明をしてもらえるのかどうかということを知っている。三郷は周知のとおり、青写真まで作ってある。児童館と併設することによって有効活用を図るという大きな方針があった。これはもうなくなったと、市政の転換を受けてなくなりましたと。従って作るか作らないか含めて協議するとわかるように説明をしていただきたい。地域の方が納得できるなら構わないが、安曇野市全体の方針を協議している。気になったので聞いた。

会長・・・三郷の場合は図書館建設の土地を確保してある。現場も見てきた。ちゃんと市民に説明がないじゃないかと考える。

委員・・・視聴覚資料を充実しますといってもなんとなくそらぞらしい。

会長・・・心配である。市民が地域に関わる関心をもっている。

委員・・・雑誌購入予定数で明科は70から50になるとある。どういう内容か。

事務局・・・どの館にもある雑誌もあれば、似たような種類で迷った場合はこれは明科、これは三郷というような精査はする。

委員・・・各学校と中央図書館の話し合いはあるのか。

事務局・・・司書部会の方たちと話し合いをしている。資料の提携も考えている。

委員・・・院内図書館は作る計画があるか。

事務局・・・そこまでの具体的な検討はない。

委員・・・三郷図書館について。ワークショップなどで積み上げたことが、先が見えない状態で残念だ。先に作った児童館も学童クラブの子どもたちがおさまりきれないでいる。作ってもらったのはいいが新しくできたのに使えないというのはどうか。三郷の図書館は公民館の一室で、本があっても場所がなく出せない。子どもの数が多いので、視聴覚資料も収集に努めると、計画にうたってあるようにして欲しい。箱に金をかけられないのであれば、学校図書館などの図書館の予算を増やして欲しい。

事務局・・・今の計画が白紙になったわけではない。他の計画との整合をとっていくという状況になりつつあるということで理解して欲しい。児童館については状況を聞いている。具体的な対策の話も出ている。

会長・・・基本方針に地域図書館は地域住民のためにとあるが、それだけでなく、市民の図書館としてという語句が欲しい。地域図書館も中央図書館も、分館という形じゃないという意識が大事かと思う。

④ 安曇野市図書館基本計画について（報告）

会長・・・今までも何回も出ているが、市の広報には出たのか。

事務局・・・広報、ホームページに出している。

⑤ その他について

委員・・・協議会について、公募5名、有識者9名となっているがこれを逆にして欲しい。実際図書館を利用する立場の方をメインにして欲しい。

会長・・・今まで考えてみると、協議会の話し合いの中から何があるのか。意見は出すが、それがどのように実現していくのか。話し合いだけで終わっている気がする。ある程度実行力をもった協議会という面があっていいのではないか。

委員・・・図書館サポーターとの意見を聞く機会はあるといい。

委員・・・いわゆる有識者という形で選ばれた方は利用をしていないのではというニュアンスに聞いた。地域の関係者が選定したとき、そのような人はいないと思う。ただ、人選は少し偏っている。ボランティア関係の人達を選びやすいから選んだという気がする。

委員・・・小さな里山なども含めた山のジオラマはおいてもらえないか。

副館長・・・みらいのエントランスなどでやってほしい。

委員・・・中央館の利用は、月日が経つごとに減少すると思う。分館は中央図書館まで行くことができないお年寄りや子どもへのサポートや、図書館の楽しさのアピールが必要。そうでないと明科などの分館は利用する人がいなくなる。

事務局・・・サポーターと中央図書館の会議は先月あった。その場で4半期ごとに集まっていくという事に決まっている。

委員・・・開館イベントをうって来館者があるのはわかるが、その後の減少を考えたとき、そうした方の意見を聴けばヒントになると思った。

委員・・・掘金と三郷の図書館を24年度までに方向性を決めるということだが、市の庁舎を建てるかどうかということは安曇野市が合併になったときからあった話。それが具体的になって図書館の計画も遅れたということもあるだろうが、目にみえて変えていかなければならない図書館である。教育委員会でも押しつけてほしい。後ろ向きになることがあれば、協議会や市民の声を出せる場へ投げかけて、もっと市民の声が市長に届くようにして欲しい。このままにしておく市民の声が届かない。そういう機会を是非持って欲しい。

会長・・・第2回協議会を以上で終わりたいと思います。ご協力ありがとうございました。
(閉会)



